

授業科目 老年発達保健論

【担当教員名】 袖山 悦子 他	対象学年	1	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

高齢社会の傾向は、先進国といわれる国々でみられ、WHOや国際連合が率先して高齢者の健康や人権擁護に関する声明を発表している。特に急速に高齢社会となったわが国は、成人期からの健康教育をはじめ社会で介護を支える介護保険の導入を行い対応してきた。そこで、本科目では、高齢化に伴う課題を理解し、高齢者のQOLを支援する制度の成立背景と今後の展望について学ぶ。

【学習目標】

1. わが国の人口の高齢化と課題について説明できる。
2. 高齢者を取り巻く保健医療福祉の動向を老年人口の増加と関連させ述べられる。
3. 高齢者のQOLについて高齢者の特徴をふまえて表現できる。
4. 高齢者の人権と倫理問題について関心を持ち取り組むことができる。
5. 高齢者のソーシャルサポートシステムに事例から説明できる。
6. 高齢者の健康の保持・増進活動について制度を背景に述べられる。

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1 2 3 4 5 6 7 8	わが国の高齢社会の特徴 高齢者を取り巻く保健医療福祉の動向 高齢者のQOL 高齢者の権利、高齢者の倫理的問題 高齢者差別、高齢者の虐待、高齢者の人権擁護 高齢者のソーシャルサポートシステム 高齢者の健康レベル、高齢者の保健活動の動向 まとめ		講義 講義 講義、演習 講義、演習 講義、DVD 講義、演習 講義 講義 小テスト

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	老年看護学一般論と看護の実践一	奥野茂代、大西和子 編集	ヌーヴェルヒロ カワ	2010・3,900円＋税
参考書	最新老年看護学 5訂 介護支援専門員基本テキスト	高崎絹子他 介護支援専門員テキスト編集 委員会編集	日本看護協会 長寿社会開発セ ンター	2008・3,800円＋税 2009・7,000円
	MDS方式によるケアプラン事例集	新津ふみ子、五十嵐智嘉子、イ ンターライ日本委員会 編集	医学書院	2006・2,800円＋税
	老年看護学	北川公子 編集	医学書院	2010・2,600円＋税
	その他の資料			

【評価方法】

出席が受験資格を満たしていること
小テスト・レポート、定期試験

【履修上の留意点】

再試験は1回